

山本 耕一

Profile

1949 年京都府生まれ。視覚など、人がものを感知するシステムを問い直すことを出発点に、平面、文字よる絵画、インスタレーション作品などをさまざまな手法で制作。愛知県豊田市在住。

参考作品

実際の出品作品とは異なります

Die 6 Elemente

2008 年 木、布、紙、ガラス、ゴム、金属、石、砂、水 28.0×21.2×4.9cm



古い書物の形式を模した木製ケースの扉を開くと、箱の側にはそれぞれ異なる要素を象徴する物質を詰めてゴム栓をした試験管が6本並び、扉の側には、それら6つを和文と独文で記した表が貼られている。この6つとは「砂」「水」「測地線」「放射線」「ゲニウス・ロキ」「人」で、地球を構成するものの代表として作者が挙げた要素である。これについて作者は、近代以降の哲学が定義する世界の構成要素とは「思惟」と「延長」であり、「延長」の最小単位の「アトム（原子）」は徹底的に追求されたが、「思惟」の最小単位の「モナド」については未開拓のままであり、そこに言及することで、地球のエLEMENTについてとらえ直すのだと語っている。